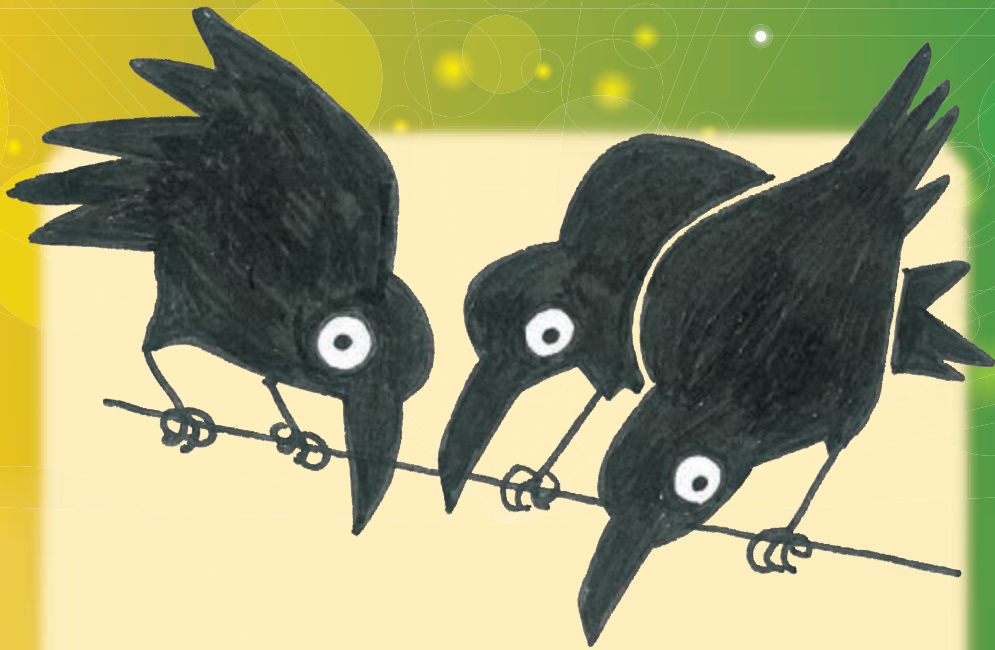


ごみステーションの カラス対策ガイドブック



平成 25 年 3 月

伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会

刊行に寄せて

『カラスがごみステーションを餌場にし、ごみを食い荒らして散乱させる事例が起きている。何とかならないものかー。』このような声が、市内各所の地域懇談会などで聞かれるようになりました。

伊丹市では、平成20年度にカラス対策として、黄色の防鳥ネットをごみステーションに配布し、カラス対策を行ってまいりました。当初は非常に効果があり、好評であったこの方法も、近年のアンケート結果によると、カラスの適応能力におされ、年々その効果が薄れてきている状況にあります。

『これまでのカラス対策を検証しながら、さらに新たな対策が打てないものかー。』このような観点から今年度、「伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会」を発足し、市民と行政が協働し、知恵を出し合ってカラス被害を防止する方策を研究することといたしました。今回、研究会での貴重な意見・提案を一つにまとめ、「ごみステーションのカラス対策ガイドブック」の刊行に至りましたことを大変嬉しく思います。

市としても、このガイドブックを各地域で積極的に活用していただきながら、今後も市民の皆様と手を携えてカラス対策を実施し、ごみの散乱のない、清潔で快適な生活環境づくりを推進してまいりますので、皆様方より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、ガイドブックの発行にご尽力いただきました伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会の皆様をはじめ、関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成25年3月

伊丹市長 藤 原 保 幸

はじめに

「伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会」は、市民と行政が知恵を出し合っ
てカラス被害を防止する方策を研究するために、市民の代表と市行政関係部局の方々を
メンバーとして、平成24年7月18日に発足しました。

当研究会では、市民に呼びかけて、市内4箇所「意見交換・学習会」を開催しまし
た。兵庫県立人と自然の博物館研究員の布野隆之先生をコーディネーターとしてお迎え
し、それぞれの地域で、現在具体的にどのようなカラス対策に取り組んでいるのかをお
伺いするとともに、カラスの習性や有効なカラス対策のあり方について学びながら、意
見交換を行いました。

この意見交換・学習会で出された提案や意見をもとに、カラス対策に有効と思われる
数々のグッズを試作し、市内22自治会52箇所のごみステーションにおいてモデル事業
として実施していただき、アンケート調査によりその効果を検証してきました。

このガイドブックは、これらの取り組みを踏まえて、カラスの生態を紹介するととも
に、カラス対策の落とし穴や、真に有効なカラス対策はどのようなものかなど、ごみス
テーションの立地条件やごみ量などに応じてきめ細かく提案しようとするものです。

地域でカラス対策に取り組む際の参考にしていただき、ごみの散乱のない、美しいま
ちづくりの一助になれば幸いです。

最後になりましたが、意見交換・学習会にご参加いただき、活発な意見交換をしてい
ただいた皆様、また、モデル事業に快くご参加いただき、アンケート調査にご協力をい
ただいた皆様に、心からお礼を申し上げます。

平成25年3月

伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会

会長 長 澤 孝

目 次

刊行に寄せて

はじめに

なぜ、カラスの「ごみ被害」は起きるのか？ 2

コラム カラスのごみ被害は、必ず解決できます！ 3

ごみ出しマナーを守ろう 4

今のカラス対策ネットにひと工夫 カラスを寄せつけない技 . . . 5

ごみステーションの状態に応じた対策を 8

ごみを減らそう 11

カラス対策のQ & A 14

付録 15

伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会名簿 16

カラス等対策に係る取り組み経過 17

意見交換・学習会の概要 18

対策モデル事業の概要 19

なぜ、カラスの「ごみ被害」は起きるのか？

原因を知らなければ、対策することはできません。まずは、市街地で起きているカラスのごみ被害の原因を知りましょう！



市街地はカラスにとって餌の楽園

市街地に暮らすカラスの餌は、家庭ごみ（残飯）です。家庭からでる残飯の量は、自然界のカラスの餌に比べて5倍も多いのが現状です（表1）。

それだけではありません。カラスの大好きな「脂肪分」に注目すると、家庭からでる残飯の脂肪分は、自然界の餌の2倍も多いことが分かります（表2）。市街地はまさに、「カラスの餌の楽園」なのです。

表2

住宅地は「脂肪」も好条件

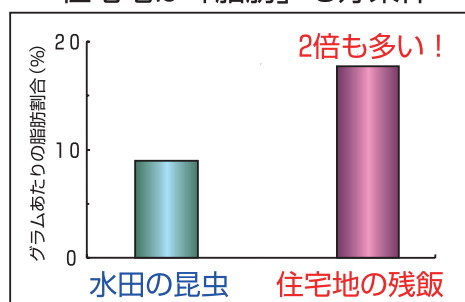
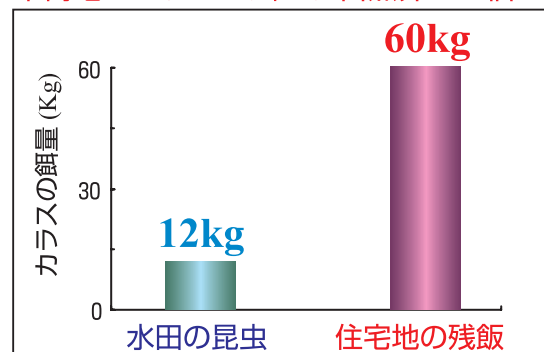


表1

市街地のカラスの餌は、自然界の5倍！！



このように、カラスのごみ被害が起きる原因は、市街地が「カラスにとって餌の楽園」となっていることにあります。よって、しっかりとカラス対策を行い、カラスを寄せつけないことが大切なのです。



「カラス対策の落とし穴」にご用心を！

カラス対策を行う上で、最も注意しなければならないことは「カラス対策の落とし穴」です。この「落とし穴」にはまってしまうと、せっかくのカラス対策も全く効果を発揮できません。

写真は、「カラス対策の落とし穴」にはまってしまったごみステーションの様子です。ごみステーションの左下に「小さなすき間」があり、カラスは自由に出入りできます。これでは、せっかくのカラス対策ネットも効果を発揮できません。

人間にとっては「小さなすき間」でも、カラスにとっては「大きなすき間」です。あなたのごみステーションは、「カラス対策の落とし穴」にはまっていませんか？もう一度、チェックしてみてください。

カラス対策を成功させるためには、「落とし穴をなくすこと」が最も大切です。

カラス対策の落とし穴





カラスのごみ被害は、必ず解決できます！

兵庫県立人と自然の博物館
研究員 布 野 隆 之

みなさん、カラスがごみを漁る問題は、必ず解決できることをご存じですか？

実際に、新潟市の五十嵐地区や青山地区では、カラスのごみ被害がほとんど起きません。限りなく「被害ゼロ」なのです！

では、なぜ、カラスのごみ被害は起きないのでしょうか。その秘訣は、「カラス対策の落とし穴」(2ページの写真 参照) から脱却したことにあります。3ページの図1は、新潟市の五十嵐地区や青山地区でのカラス対策の様子です。

形が自由に変形し、落とし穴の出来やすい防鳥ネットから、ボックス型の簡易ごみステーションに切り替えることにより、見事に落とし穴はなくなっています。このように「落とし穴を上手になくすこと」が、カラスのごみ被害を「ゼロ」にするコツなのです。

次に、「落とし穴を上手になくす方法」をいくつか紹介したいと思います。図2は、伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会が実施した実験の結果です。

防鳥ネット



形が自由に変形するネットでは、ごみの山に「すき間」がしやすい。

このため、新潟市も「カラス対策の落とし穴」に悩まされていた。

ボックス型 ごみステーション



ボックス型のごみステーションを導入したところ、「すき間」は全くできなくなった。

現在の新潟市は「カラス対策の落とし穴」を見事に解決している。

図1 新潟市におけるカラスのごみ被害対策 (写真はイメージ)

①ボックス型 ごみステーション



「効果があった」
の回答100%

②チェーンおもり付き ネット



「効果があった」
の回答87.5%

③畦板とネットの並用



「効果があった」
の回答100%

④マチ付きネット



「効果があった」
の回答100%

どれも
効果があるよ



モデル事業アンケート結果より (わからないの回答を除く)

図2. カラス対策の落とし穴をなくす方法

これらの結果から分かるように、②チェーンおもり付きネット、③畦板とネットの並用、④マチ付ネットなど、いくつかの方法にてカラスのごみ被害をほぼ「ゼロ」にする効果が認められています。つまり、新潟市のようにボックス型ステーションに切り替えなくても、普段使用しているネットに少しの工夫を加えるだけでも十分に効果は上がるのです！

今回ご紹介した「落とし穴を上手になくす方法」は、いずれも安価な上、容易に導入することができます。カラスのごみ被害「ゼロ」に向け、みなさんも、ネットに少し工夫してみませんか。



ごみ出しマナーを守ろう

— 知っていますか、ごみ出し3原則

- | | |
|---|--------------------|
| 1. 決められた曜日に
2. 決められた場所に
3. 決められたものを | } 午前8時30分
までに出す |
|---|--------------------|



ごみ出し3原則を守りましょう。

カラス対策には、まず、ごみ出しのマナーを守ることが大切です。

ごみ出し3原則を守りましょう。特に、決められた曜日の朝8時30分までに出すことを守らず、前夜から出したり、ごみ収集後に出したりすると、カラスや猫に荒らされてしまう原因となります。

マナー違反の例

ごみをネットの上に置く

きちんとネット内にごみを入れるという基本的なことが守られず、ネットの上にごみを置かれてしまえば、ネットの効果はゼロになってしまいます。



ネットの上にごみを
置いてしまう



マナーを守りましょう！

○ごみをネットの中にきちんと入れて覆う



ネットの中にごみをきちんと入れる

今のカラス対策ネットにひと工夫

ー カラスを寄せつけない技

アンケート結果では、カラス対策の効果が薄れてきたとされているカラス対策ネットですが、そもそもネットのかけ方が不十分だったり、効果のないかけ方をしていませんか。きちんとネットで覆ってあればカラスの被害はほぼ防ぐことができます。

カラス対策をやっているつもりで、落とし穴にはまっていないか、チェックしてみましょう。

よくない事例 その①

ネットで覆いきれていない

ごみの量が多すぎてネットで覆いきれていない例です。覆いきれていない下の方からカラスにごみを引っ張り出されてしまいます。



ネットで覆いきれていない



改善策

- ネットを二重にかける
- 2つのネットをつなぎ合わせて完全に覆う



ネットで完全に覆っている状態

よくない事例 その②

ネットに穴が開いている

せっかくネットをかけていても、穴が開いていて、穴からカラスがごみをつつき出しています。



ネットに穴が開いている



改善策

- 穴の開いていないネットを使う
- 穴を繕う



穴のないネットで完全に覆っている状態

よくない事例 その③

壁掛けネットの脇が開いている

壁面などにネットをかけていますが、両脇が覆いきれていません。これではすき間からごみを引っ張り出されてしまいます。



壁面などにネットを吊り下げているが脇が開いている例



改善策

- ネットの両脇に襷をつける
- 脇の部分を浮かないように止める



ネットの両脇に三角形の襷をつけてごみを完全に覆う



ネットの脇の部分が浮かないように止める
(収集後はペットボトルを片づけましょう)

よくない事例 その④

ネットにすき間がある

一見、きちんとネットをかけて押さえているようですが、ネットの下にすき間が開いてしまい、下からごみを引っ張り出されてしまいます。



ネットの下にすき間がある



改善策

- ネットの下側にすき間ができないようにする



下にすき間ができないようにペットボトルなどで押さえる
(収集後はペットボトルを片づけましょう)

よくない事例 その⑤

大きなステーションで、ごみの量も多い
ため、ネットで覆いきれない

大きなステーションによく見られる例です。
ごみを上に上にと積み上げてしまい、ネットで
覆いきれません。



大きなステーション



改善策

- ごみを横に並べてネットを数枚かける
- ごみの山を複数にしてネットをかける



ごみを横に並べる



ごみの山を二つ作る

よくない事例 その⑥

集合住宅での専用のごみ置き場で

ネットがあってもきちんとかけていないため
に、カラスにごみを引っ張り出されてしまっ
ています。



カラスが散らかした
集合住宅のごみステーション



改善策

- 突っ張り棒などを利用して、ステーションに
すき間ができないようにする

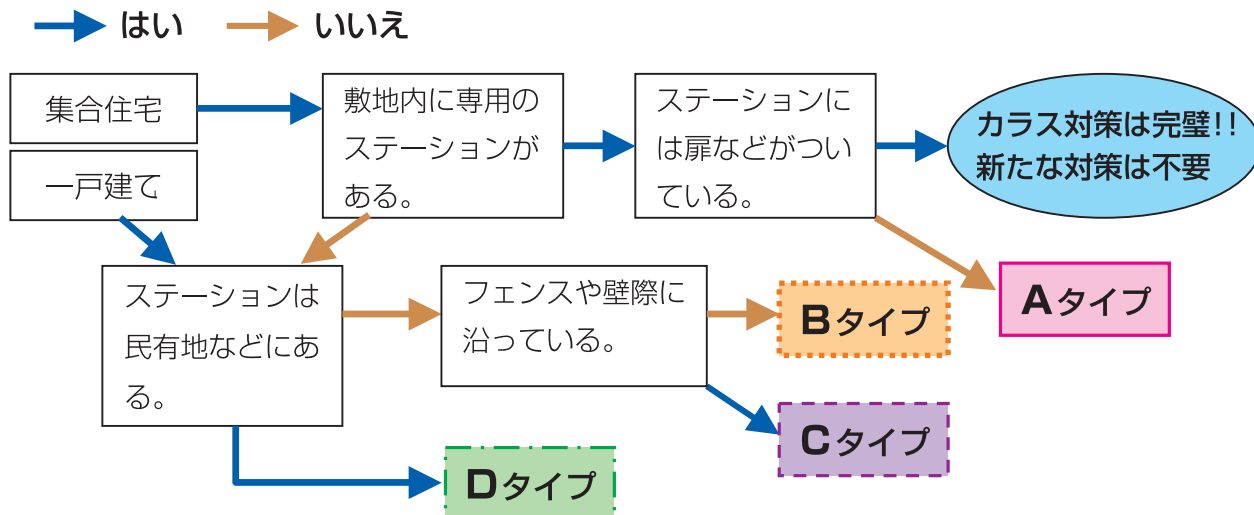


ネットのすき間がない集合住宅のステーション

ごみステーションの状態に応じた対策を

今のカラス防止ネットだけでは、うまくいかないという場合には、ごみステーションの立地や広さ・形状に応じて、様々なカラス対策を提案します。

あなたのごみステーションはどのタイプ？ 下記のフローチャートで見てください。



Aタイプ 集合住宅などで、開放型の専用のごみステーションでは・・・

◆ポールを使ったネット押さえ

コの字型に囲った専用のステーションがあるときには、ポールや棒、竹ざおなどを使ってネットにすき間ができないようにたらせば、カラス被害を防ぐことができます。



◆固定式ごみ収納枠

合成樹脂性や金属製や木製など、さまざまな材質でサイズもいろいろあります。

ごみの量が収納枠に収まっていれば、ほぼ確実に被害を防ぐことができます。

収集作業の効率化や作業員の負担軽減のため、前面が開くものをお願いします。

固定式の工作物は、公道上や水路上に置くことはできません。



Bタイプ 路上を一時使用しているステーションでは安全の確保に配慮して・・・

◆おもり付ネット

今のカラス避けネットに、チェーンや竹ざお、ポールなどのおもりを施して、下の部分にすき間ができないようにします。一枚で覆いきれないときは、二枚をずらして覆うといいでしょう。



チェーンおもり付ネット



ポール付ネット

◆ネットと折りたたみ式畦板枠の合わせ技

畦板の枠を広げてその中にごみを入れ、上からネットをかけます。カラスがネットの上部をつつきますが、ごみを引っ張り出すことができず、あきらめて来なくなります。枠があるため、猫などが下からごみを引っ張り出すこともできません。

収集後は、通行の妨げにならないよう、枠は折りたたんで片づけましょう。



畦板枠とネット

◆折りたたみ式ごみ収納枠

合成樹脂性や金属製の折りたたみ式ごみ収納枠です。底がなく、収集時には取り払うことができます。ごみの量が収納枠に収まっていれば、ほぼ確実に被害を防ぐことができます。

収集後は、通行の妨げにならないよう、折りたたんで片づけましょう。



Cタイプ 壁やフェンス沿いのステーションでは・・・

◆吊り下げ式ネット

壁などにネットを吊り下げている例が見られますが、これではごみを覆いきれず、脇からごみのはみ出て、カラスなどに引っ張り出されることがあります。両脇に三角形のマチをつけることで、ごみを全て覆いきることができます。



マチ付ネット

Dタイプ 民有地などで、常時ごみステーションを設置できる場所では・・・

民有地などで常時、ごみステーションを設置できる場所では、固定式の工作物を置くことも可能です。ただし、ステーションの管理は、地域でお願いしていますので、工作物などを作られる場合には、地域の自治会長や保健衛生推進委員と十分に協議をしていただくようお願いいたします。歩行者の安全や、収集作業の効率性にご配慮ください。市の生活環境課のごみステーション担当（TEL 781-5371）へご相談ください。

◆固定式のごみ収納ボックス

合成樹脂性や金属製や木製など、さまざまな材質でサイズもいろいろあります。

ごみの量がボックスのサイズに収まっていれば、ほぼ確実に被害を防ぐことができます。

収集時に作業員が腰を痛めることがないように、前面が開くものをお願いします。

固定式の工作物は、公道上や水路上に置くことはできません。



前開きの固定式ごみ収納庫

◆折りたたみ式ごみ収納枠

合成樹脂性や金属製の折りたたみ式ごみ収納枠です。底がなく、収集時には取り払うこともできます。ごみの量が収納枠に収まっていれば、ほぼ確実に被害を防ぐことができます。

こんなものも
試してみましたが……



カプサイシン付ごみ袋



①の収納庫の開口している様子

カラスの嫌がるからし成分（カプサイシン）が付いており、メッシュ状になっているのでカラスがついても破れません。但し、一枚30円程度で高価なのが難点です。



ごみを減らそう

カラス対策とは、まず何よりもごみステーションに出すカラスの餌となる生ごみを減らすことです。

平成24年4月からごみと資源物の分け方・出し方が一部変わり、プラスチック製品や、汚れたとれないプラスチック製容器包装（ケチャップやマヨネーズのチューブなど）は、生ごみとともに燃やすごみに出すことになりました。

このため、カラスが主に狙うのは週に2回の燃やすごみです。燃やすごみの量が増えて、ネットで覆いきれないという声も聞かれます。

燃やすごみを少しでも減らすことが、カラス対策につながります。



まずは生ごみを減らそう

- ◎料理を作りすぎない。
- ◎食べ残しをしない。
- ◎必要以上の量は買わない。
- ◎生ごみの水切りをしたり、乾燥させたりする。
- ◎生ごみを堆肥化する。

生ごみの減量には、電動式生ごみ処理機や生ごみ処理容器の活用をおすすめいたします。また、購入助成制度がありますので、希望される場合は、生活環境課（TEL 781-5371）へご相談ください。

◆生ごみ減量・堆肥化容器購入費助成制度◆

- 容器の種類は電動式、コンポスト式、密封式容器、その他生ごみ減量・堆肥化ができる機器または容器とします。（ディスポーザー方式は対象外です。）
- 電動式の場合は容器1基まで、コンポスト式、密封式の場合は容器2基まで、その他の機器または容器の場合は容器1基まで補助対象になります。
- 密封式容器の購入と同時にEM菌等を購入される場合には、容器1基につきEM菌等1袋まで補助の対象に含めます。
- 補助額は、購入費の半額（ただし限度額は20,000円）です。

（例1）50,000円（税抜き）の電動式容器を1基購入する場合

$50,000円 \times 1基 \times 1/2 = 25,000円$ 25,000円 > 20,000円なので補助金額は20,000円となります。

☆実際の購入金額は $50,000円 \times 1基 \times 1.05（消費税） - 20,000円（補助金額） = 32,500円$ となります。

（例2）4,000円（税抜き）の密封式容器を2基と500円（税抜き）のEM菌等を2袋購入する場合

$（4,000円 \times 2基 + 500円 \times 2袋） \times 1/2 = 4,500円$ 4,500円 < 20,000円なので補助金額は4,500円となります。

☆実際の購入金額は $（4,000円 \times 2基 + 500円 \times 2袋） \times 1.05（消費税） - 4,500円（補助金額） = 4,950円$ となります。

簡単コンポストで生ごみ減量 ダンボールコンポストの作り方

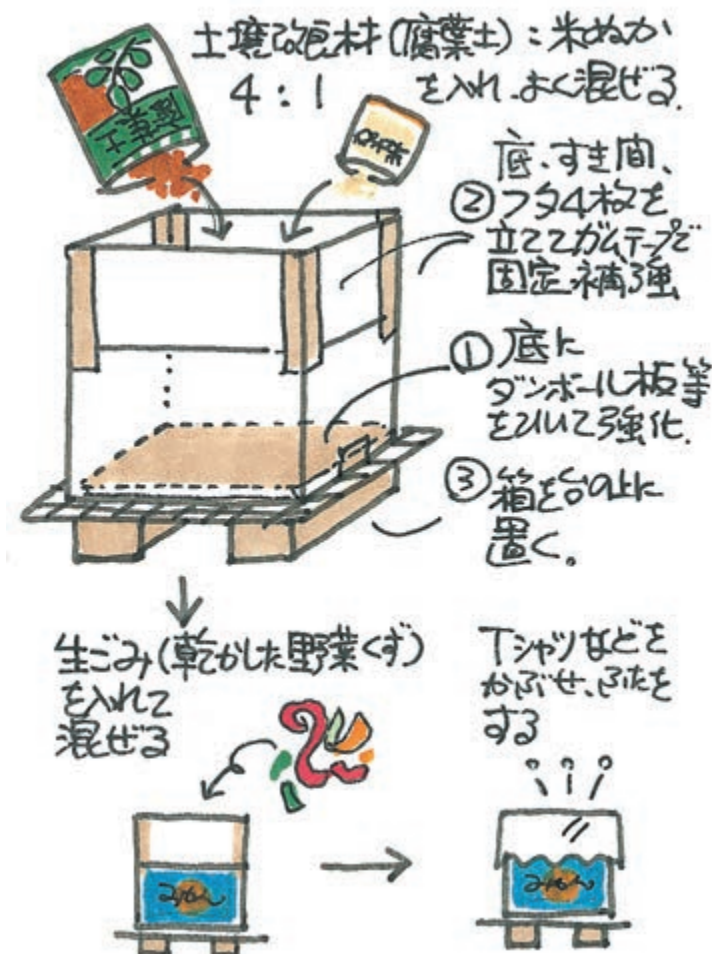
【用意するもの】

- ◎土壌改良材(腐葉土)
- ◎ダンボール箱 (みかん箱ぐらいの大きさ)
- ◎ダンボール板
(箱の底を二重にし、補強します。新聞紙2日分ぐらいでもOK)
- ◎ダンボール箱を乗せる台 (「瓶ビールケースや野菜苗ケースなどの底が網目になったもの」、「丈夫なかご」、「木片・ブロックに金網を乗せたもの」など、ダンボール箱の底の通気を良くします)
- ◎スコップ等 (混ぜるのに使います)
- ◎ダンボール箱のふた (通気性の良い布(古着のTシャツなど))
- ◎ガムテープ (箱を補強したり組み立てに使います)
- ◎米ぬか (生ごみの堆肥化を促進する効果があります)



【あれば良いもの】

- ◎はかり (ごみの重さを量ります)



【作り方】

- ①ダンボール箱の底にダンボール板(又は新聞紙)をひき、底を強化します。
- ②箱のすき間や底をガムテープで補強し、上のふたになっている4枚を立ててガムテープで固定し、深い箱にします(底が交互に折りこまれた組み立てである場合、底がぬけないように補強してください)。
- ③箱を台の上に置き、「土壌改良材(腐葉土)」と「米ぬか」を入れ、よく混ぜます。(土壌改良材と米ぬかの比率は4：1程度が適当です。)

これで準備完了！

あとは、1日500gを目安とした生ごみ(乾かした野菜くず)を入れてできるだけ毎日、下から良くかき混ぜます。

(コバエなどの進入・発生を防止するため、Tシャツなどをかぶせ、ふたをします。)

土と混ぜて約1ヵ月寝かせて堆肥として利用します。

生活環境課では、ダンボールコンポストの作り方についてもお相談に応じています。(TEL 781-5371)

燃やすごみから資源となるものを取り除こう

◎雑誌・雑多な紙を資源として出しましょう。

つい、燃やすごみに出してしまいがちな雑多な紙も資源になります。

自治会・子供会などの集団回収や、資源物の日（月2回水曜日）に古紙として出してください。

雑誌・雑多な紙にはこんなものがあります

小さなものでも大丈夫！燃やすごみに入らずに、ぜひ資源として出してください。



伊丹市では、マークの付いている紙袋、包装紙はもちろんコピー紙やメモ用紙などの紙も「雑多な紙」として資源にしていますので、積極にご協力いただきますようお願いいたします。

出し方

小さな紙は、雑誌にはさむか、封筒などにひとまとめにしてひもでしばって出してください。(紙ひもだとそのまま再生できるので理想的ですが、あまり売られていないため、ビニールひもでも結構です)

デパートなどの紙袋などに普段ためておいて、出すときにそのままひもでしばっていただくと便利です。

シュレッターにかけた紙も資源です。
量が多ければ、無色透明、白色半透明の袋に入れてください。





カラス対策のQ&A

意見交換・学習会やアンケートなどで、よく出された質問にお答えします。

Q カラス対策には、黄色が効果的と聞いたのですが。

A カラスは黄色が苦手なわけではありません。カラスは、紫外線が見えるので、東京都で、紫外線をカットする特殊な顔料が入った黄色いごみ袋を使用したところ、カラスはごみ袋の中身が見えず、カラス対策として効果がありました。このことが、マスコミで大きく取り上げられ、黄色がカラスに効果があると誤解されたようです。紫外線をカットする顔料が入っていなければ、黄色であってもカラスへの効果は変わりません。

ネットの色に関係なく、いかに完全にごみを覆うかがカラス対策のポイントです。本市では、カラス避けとして、黄色のネットを全ステーションに配布していますが、黄色いネットよりも緑色のネットの方が丈夫なこともあり、景観の維持に適していることから、今後は、緑色のネットに統一して配布していこうとしているところです。

Q カラスは、目や鼻が利くのでしょうか。

A カラスの目は、人間の5倍程度良く、紫外線も見えています。鼻は余り利かず、近くのもの匂いしかわかりません。主に視覚でえさを探しています。

Q カラスの嫌がる臭いや嫌いな音を出すような対策グッズがありますが、効果はありますか。

A 確かに、カラスの嫌いな臭いや音はあり、さまざまなグッズが販売されています。

一定の効果は期待できますが、人間と同じで、お腹が減っていたら関係なくごみをあさるようになります。やはり、物理的にごみをカラスからブロックするのが一番効果的な方法です。

Q このガイドブックでは、折りたたみ式のごみ収納枠や固定式のごみ収納ボックスなどが紹介されていますが、購入に当たって補助はありますか。

A 現在のところ、補助金の交付は予定していません。既に自治会等によっては自前で、このような収納枠や収納ボックスを用意されているところもあり、既に設置されているところや、集合住宅などで専用のごみステーションを設置されているところなどとの公平性の問題もあります。

また、ごみステーションの立地条件や形状によっては、ごみ収納枠や固定式のごみ収納ボックスが置けないところもありますので、購入や設置をする際には、事前に生活環境課（TEL 781-5371）にご相談いただきますようお願いいたします。

Q この際、カラスは駆除すべきではないでしょうか。

A 「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」により、捕まえることは禁じられているので、基本的には駆除ができません。

但し、危害を加えられるなどの理由があれば、有害鳥獣として捕獲が許可される場合がありますが、駆除できるのは、捕獲許可を取った専門業者に限られていますし、カラスの個体数を減らすためには、多くのカラスを駆除する必要があり、時間や労力を考えると、カラスからごみをブロックする方がはるかに有効です。

住宅地には、水田等に比べて5倍ものえさが出ていることから、少々駆除をしてもすぐに増えてしまいます。カラスからごみをブロックすれば、おのずと住宅地でのカラスの数も減っていきます。

付 録

伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会名簿

カラス等対策に係る取り組み経過

意見交換・学習会の概要

対策モデル事業の概要

伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会名簿

【市民代表】

会 長	伊丹市自治会連合会 環境委員会委員長	長 澤 孝
副会長	伊丹市保健衛生推進連合会 会長	宮 脇 かをる
	伊丹市自治会連合会 環境委員会副委員長	矢 野 天 正
	伊丹市保健衛生推進連合会 副会長	坂 田 勝 美

【行政代表】

伊丹市市民自治部 まちづくり室長
伊丹市市民自治部 環境政策室長兼生活環境課長
伊丹市市民自治部 環境政策室みどり公園課長
伊丹市都市活力部 産業振興室長兼農業政策課長
伊丹市市民自治部 環境クリーンセンター所長

【アドバイザー】

兵庫県立人と自然の博物館 研究員 布 野 隆 之

【事務局】

NPO法人 豊中・伊丹環境政策フォーラム 事務局長 小 篠 和 之
伊丹市市民自治部 環境クリーンセンター

カラス等対策に係る取り組み経過

◇ごみステーションカラス対策に係る内部検討会

	日 程	内 容
第 1 回	平成24年5月28日	ごみステーションカラス対策に係る問題点について
第 2 回	平成24年6月22日	今後のカラスの対策について

内部検討会メンバー

市民自治部 まちづくり推進課・生活環境課・みどり公園課・環境クリーンセンター
 都市活力部 農業政策課
 都市基盤部 下水道課・道路保全課・安全対策課

◇伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会及び意見交換・学習会

	日 程	内 容
第 1 回	平成24年 7月18日	1. 会員紹介
		2. 会長・副会長の選出
		3. 設置要綱に基づく研究事項の確認及び今後の進め方について
第 2 回	平成24年 8月3日	1. カラスの生態等について 兵庫県立人と自然の博物館 研究員 布野 隆之 先生
		2. カラス対策意見交換・学習会について
		3. カラス対策グッズについて
意見交換	平成24年 8月19日	14:00～ ラスタホール
		18:30～ スワンホール
	平成24年 8月30日	14:00～ きららホール
		18:30～ いたみホール
第 3 回	平成24年 9月13日	※講演「カラスの被害を解決する」 ※カラス対策意見交換 ※カラス対策モデル事業について
		1. 意見交換・学習会の総評について ①参加人数等、総合評価 ②参加者からの意見・質問事項 ③参加者アンケートについて
第 4 回	平成24年 11月8日	2. カラス等対策に係るモデル事業について ①実施時期及び期間について ②実施地区及びステーション数について ③モデル事業における具体的なカラス対策について
		1. カラス等対策に係るモデル事業の経過について
		2. 来年度予算について
第 5 回	平成25年 1月24日	3. 今後の方向性について
		1. カラス等対策モデル事業アンケート結果について
		2. カラス対策ガイドブックの構成について
第 6 回	平成25年 3月21日	3. 今後の取り組みについて
		1. カラス対策ガイドブックの調整について
		2. 来年度以降の取り組みについて

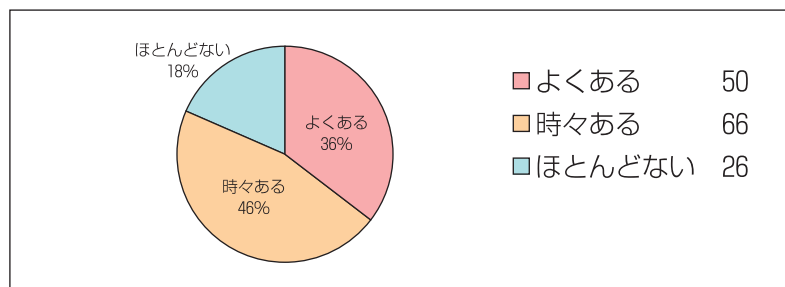
8月19日(日)14:00	8月19日(日)18:30	8月30日(木)14:00	8月30日(木)18:30	合 計
ラスタホール	スワンホール	きららホール	いたみホール	
参 加 者 47人	26人	56人	60人	189人
アンケート 37人	25人	36人	53人	151人
				

会場で交わされた質問・意見や提案など

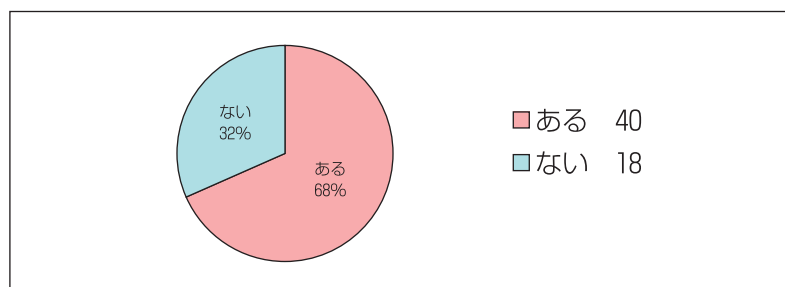
- ◇カラスは黄色が見えないわけではない。カラスは紫外線が見えるので、紫外線カットの特殊な顔料が入った黄色のごみ袋を東京都で試行したところ効果があったので、黄色に効果があると誤解された。ネットの色に関係なく、いかにごみを囲うかが大事である。
- ◇カラスの嫌いな音や臭いの忌避剤もあるが、人間と同じで空腹であれば関係がない。
- ◇週2回の燃やすごみの日を週1回にしてはどうか。
- ◇ネットのまわりにおもりをつければよい。
- ◇三方がブロック塀のステーションではネットにポールをつけたりペットボトルをおいて、上下から被害が出ないようにすればよい。
- ◇黄色のネットは1,500円かかるので自治会には言いにくく、つぎはぎをして使用している。
- ◇自治会で、25のうち20箇所のカラス避けステーションを2種類設置した。被害は出なくなった。

アンケート結果

◇お住まいの地域のごみステーションで、カラスの被害は。



◇カラス対策モデル事業に興味がありますか。



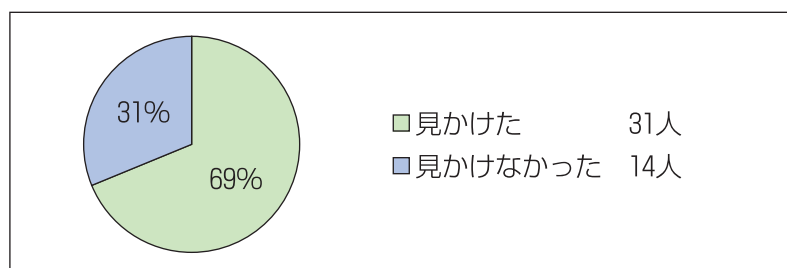
被害があると答えた方の主な意見

- ◆ネットをしていてもズラして生ごみを食べたり、ナイロンのごみ袋を引っ張り出し他の場所で食べている。食い散らかして掃除が大変。特に風の強いときなど近隣の方にも迷惑をかけている。
- ◆マンションだが、生ごみ出しの月・木が大変。繁殖期（今春～6月）何十羽というカラスを見て、恐怖を覚えた。
- ◆指定日以外に出されていたり、生ごみの日に、ネットの出る前にごみが出されることがある。
- ◆猫に餌を与える人がいて、まいた餌にカラスが集まっている。

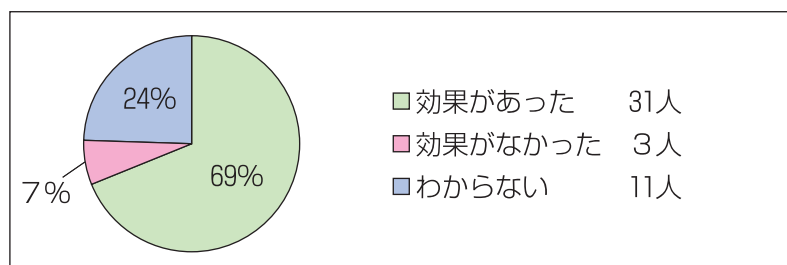
モデル事業のメニュー（17小学校区 22自治会 52ステーション）

①折りたたみ式 持ち運び収納枠	②畦板枠とネット のあわせ技	③チェーンおもり 付ネット	④からし成分付 ごみ袋	⑤吊り下げ式 マチ付ネット
7ステーション	7ステーション	36ステーション	1ステーション	1ステーション
				

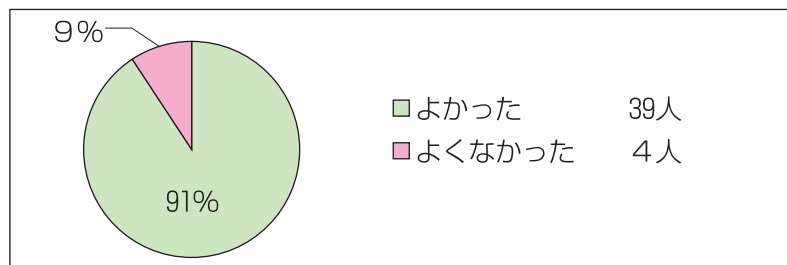
（１）モデル事業の実施期間中、ステーション付近でカラスを見かけましたか。



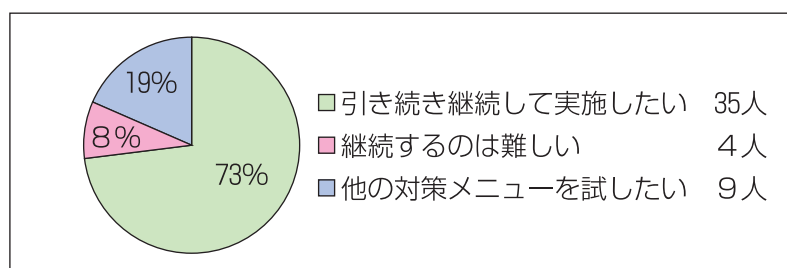
（２）実施いただいた対策メニューはカラス等に対して効果がありましたか。



（３）今回の対策メニューのステーション利用者の評判は。



（４）今回の対策メニューを継続して実施したいですか。



（１）モデル事業期間中、ステーション付近では7割の方がカラスを見かけていた。

（２）モデル事業の効果は約7割の方が効果があつたと回答されたが、もっとも高かつたのが①の折りたたみ式収納枠（83.3%）で、③のチェーンおもり付ネットでは65.6%だった。

◇効果がなかつた、わからないと答えられた理由の主なもの、

- ・カラスを最近見かけないため。
- ・ネットをしてもきちんとごみを入れてなかつたり、生ごみも袋の口をきちんと縛っていない人がいたため。
- ・チェーン付ネットに穴が開いたり、ごみを覆いきれなかつた。などである。

（３）ステーション利用者の評判は概ねよかった（91%）が、①では開閉時に指詰めしそうになった。②はもう少し軽い方がよい。③ではごみが覆いきれない。腰をかがめてネットを持ち上げるのが不便などの声があつた。

（４）73%の人が今の対策メニューを引き続き実施を希望。他のメニューでは①と③に5人ずつ希望があつた。

編集・発行

伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会

事務局 伊丹市環境クリーンセンター

〒664-0843 伊丹市岩屋2-2-8

TEL 072-782-0968

24市 500100-1-060 A4

この印刷物は12,000部作成し、
印刷経費は1部あたり34.5円です。